

「向学の熱」

令和4年度 竜北中学校 学校便り 第6号

文責 校長 高橋 博之

学校ホームページ <https://jh.higo.ed.jp/ryuhoku/>

第3回「CSの日:オータム交電会」～中学校区拡大大学校運営協議会の取組～

11月5日(土)に、今年度が第3回目となる「オータム交電会」が行われました。この取組は令和2年度から始まったもので、「15の春を輝かせるために」を竜中校区の活動テーマとし、中学校区拡大大学校運営協議会(竜北中・西部小・東小の3校の代表からなる学校運営協議会 以下:拡大CS)が主体となり行うものです。

拡大CSでは、「15の春」つまり義務教育を終了する中学校3年生の目指す姿を、「ふるさと氷川に誇りを持ち」、「自分や他者の命を大切に」、「主体的に活動し互いに高め合う」生徒としています。そこで、夢を持って自分の進路を切り開くことができるよう、拡大CSとしてどんな取組ができるかを考え、子供たちを支え・育むための活動を進めているところです。

今年度の氷川町全体のCSのテーマが「郷土愛を育むCS活動の充実」であることを受け、拡大CSでは昨年行った「氷川町の魅力・良さ」について中学生が小学生に伝える活動を継続していくことにしました。中学生にとっては、氷川町の魅力や良さについて調べ学習等でまとめ、その内容を小学生に伝える活動を通して、「ふるさと氷川に誇りを持つ」「自己有用感や達成感を高める」ことにつながります。小学生にとっては、中学生の発表を聞くことで「氷川町の魅力や良さ」に気付くことはもちろん、「中学生ってすごいな!」「私たちも中学生になったら小学生に伝えてあげたい」といった気持ちをもって欲しいというねらいがあります。



授業前の打合せの様子



「蛍」のことを1年生にわかりやすく説明

今年度は、氷川町教育委員会が県教育委員会より「地域学校協働活動モデル地域」の指定を受けていることから、当日は県内各地から多くの参観者がありました。そのような中、本校の生徒達は「氷川町の魅力や良さ」について、パワーポイントを使ってわかりやすく説明したり、説明の内容をクイズ形式で振り返ったりと、小学校の先生のように会話をやりとりしながら、堂々と活動していました。活動後の振り返りでは、CS委員さんから、「今回の取組のねらいとすることが十分に達成できた」「一緒に活動した大人も充実感があつた」といったうれしい声も聞かれました。次年度、新型コロナの状況がどうなるかは不透明ですが、この拡大CSの取組を広く保護者や地域の方に知っていただく機会になればと考えています。

「向学の熱」～全国学力・学習状況調査結果より～

前号では、学習の状況についてお知らせしましたが、今回は生活習慣や学習環境等の「生徒質問紙」の成果と課題についてお知らせします。

「自分にはよいところがある」「先生はよいところを認めてくれる」の質問に肯定的に答えた生徒は全国比より高く、3年連続で伸びが見られました。

逆に、「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っているか」

「授業以外に、普段(月～金)1日どれくらいの時間勉強をするか」の質問については、全国比を下回っており課題が見られました。

これらの課題については、保護者だけでなく生徒にも課題意識を持ってもらい、一緒に考えて行きたいと思えます。家庭でも話題にして頂くとありがたいです。

鍛錬の汗 光る!～熊本県中体連駅伝競走大会～

11/11(金)に熊本県中体連駅伝競走大会が“えがお健康スタジアム”の周回コースで行われました。

八代地区の代表として今大会に臨んだ本校男子チームは、17位という悔しい結果に終わりました。県大会のレベルの高さを感じた大会となりましたが、大会終了後の選手・サポート・指導者の様子は、それぞれ

に充実感や、やり遂げた清々しさを感じました。

夏休みからこれまで練習や大会での経験は、必ず今後の生活に生きてくるものと思います。保護者の皆様のご支援もありがとうございました!



